

第13期第3四半期業績のご報告 (平成21年1月1日～平成21年3月31日)

平成 21年 7月 吉日
日本システムバンク株式会社
代表取締役社長 野坂 信嘉

当四半期における当社を取り巻く環境は、ガソリン価格の下落安定による駐車場稼働率の回復、販売先の中古在庫の整理終了による新規機器販売機会の増加など、明るい見通しとなって参りました。

CPシステム運営事業(CPとはコインパーキングの略称)においては、のぼりや LED 付き看板の設置、案内看板の標準化などのアイキャッチ向上施策を打つとともに、IT を用いた駐車場の緻密な稼働分析と現地の競合分析を融合させた戦略的分析を行い、駐車場利用料金の最適化による稼働率向上に努めました。又、運営コストの大幅な削減に注力し、不採算駐車場の地代引下げや解約を実行し、採算性の向上を実現しました。その結果、売上高 699,936 千円(前年同期比 78.2%)の推移となりました。

CPシステム販売管理事業においては、不動産市況の低迷の中、ガソリン価格の安定による駐車場事業の業績回復に興味関心を持つ地主、企業が増加しつつあり、ここへの積極的な営業を実施致しました。しかしながら、都心部における不動産市況環境においてリース会社、金融機関では未だ慎重な傾向が続いております。その影響もあり、売上高 409,024 千円(前年同期比 86.2%)となりました。

プロパティマネジメント事業に関しては、堅調に推移し、売上高 84,156 千円(前年同期比 89.5%)の結果となりました。

分譲マンション事業に関しては、タワーグランデ CHA の 5 月完成に向けた告知・集客活動に注力いたしました。当マンションは「免震構造」、「トライアングル型」、「池・滝・緑」など多くの魅力あるマンションであることから、戸建て志向の強い福井にあっても、販売開始以来の来場件数が700件超と他のマンション事例には無い活況下にあります。この中、全社を上げた積極的な営業活動を推し進め、売上高 589,278 千円を計上する結果となりました。

以上の結果、第3四半期の売上高は 1,782,531 千円(前年同期比 121.2%)と大きく伸長致しました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

事業区別	金額	前年比
CPシステム運営事業	699,936 千円	78.2%
CPシステム販売管理事業	409,024 千円	86.2%
プロパティマネジメント事業	84,156 千円	89.5%
分譲マンション事業	589,278 千円	-%
その他	140 千円	1.7%